

マルチタスク学習を用いた 多様な特徴をもつ緑内障の進行予測

○真矢 滋(東大), 森野 佳生(東大), 山西 健司(東大, CREST)

・ 緑内障とは?

- ・ 症状: 視野欠損
- ・ 診断: 重負担

・ 提案手法

- ・ データの各軸の特徴を考慮した**マルチタスク学習**
 - ・ 行列分解における各行列が軸の特徴を反映
- ・ 既存手法 (Liang+, 2013) より**有意に**正確な予測が可能

・ 課題

- ・ **少数**の診断結果から各患者の緑内障進行を高精度に予測

データセットを3種類の行列で表現

